

プロジェクトテーマ一覧 (2016 - 2019)

	活動時	プロジェクト名	連携先	協力先	活動内容	成果
1	2016 年 前期	梁川通りの活性化	梁川商店街活性化委員会	(株)K2 他	小樽中央市場にて0円生活。商店街の方々の手伝いをしながら定期的な情報発信や、子供たちに宿題を教える寺小屋を行った。	新たな世代間交流が生まれるきっかけとなった。
2	2016 年 前期	小樽の食文化の情報発信	(株)オー・プラン	小樽市内各飲食店他	小樽の食文化についてと、市内23の飲食店を紹介した新入生向け「たるぼーと」の作成、アンケートを実施した。	新入生が小樽の街へ足を向けるきっかけとなった。
3	2016 年 前期	本気 MOTTAINAI	小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」	(株)K2 他	廃棄食材の回収や子供食堂を実施した。	本気プロ終了後も新たなメンバーを集め活動を続けた。
4	2016 年 前期	ヘルスツーリズムの推進	(株)PGN、小樽グリーンパーク	(株)エフエム小樽放送局他	パークゴルフ場に多くの若者をよぶためのモニターツアーを数回実施した。(パークゴルフ+ジンギスカン+星空体験など)	連携先が女性や若者をターゲットにした新しい企画を継続して行った。
5	2016 年 前期	社会教育の充実	小樽市選挙管理委員会	北海道桜陽高等学校他	18歳選挙権に着目し、大学内での模擬選挙、選挙について考える高校での出前授業を実施し現役市議と小樽の未来を考える意見交換会を行った。	若者と社会を結びきっかけとなった。
6	2016 年 前期	小樽観光客の満足度向上	(一社)小樽観光協会	(有)利尻屋みのや他	日本文化(茶道と小樽の和菓子)の体験型イベントの実証実験を3回実施。小樽市へ観光客が求める着地型旅行商品の企画提案を行った。	「コト消費」についてニーズがあることを考えてもらうきっかけとなった。
7	2016 年 後期	「しりべし塾」での地域の魅力発見・発信	後志観光連盟	古平町、赤井川村、仁木町他	古平町、赤岩村、仁木町で地元学を行った。また、3町の魅力を伝える子供向け冊子を作成した。	よそ者目線で見た場合の「ヒト」「モノ」「コト」の魅力を伝えることができた。
8	2016 年 後期	小樽観光地のユニバーサルデザイン	(一社)小樽観光協会	小樽堺町通り商店街他	堺町通りで約3ヶ月調査。双方に要望があったトイレの使い方ステッカー(14種4カ国語)を作成した。	多数の問合せがあり後志総合振興局のホームページ上からデータをダウンロードできるようにした。
9	2016 年 後期	小樽ブランドを活かした新たな商品開発	バッグのムラタ、(株)アカイン靴店	(株)ミツウマ、村本テント他	小樽市内の小学生が持つ「ナップランド」に着目。大人向け「ナップランド」の試作品を開発した。	2つの靴店の意見を聞きながら、小樽のゴム会社のパーツも使い、試作品を完成することができた。
10	2016 年 後期	市立小樽図書館の活性化	市立小樽図書館	小樽水族館公社、おたる自然の村他	図書館の新たな魅力や活用法を提案するために、「本×実体験」をコンセプトに、水族館とのコラボイベントなどを行った。	学生の取組をきっかけに、その後、たくさんの企画イベントがおこなわれている。
11	2017 年 前期	小樽ときめきチャンネル	(株)K2	小樽市内各飲食店他	小樽の魅力を YouTube を使って発信するため、自らが企画し取材し編集した「小樽ときめきチャンネル」を開設し7店舗の紹介を行った。	大学内や小樽市内にあるデジタルサイネージで放映していただき、店側からの反応も多数あった。
12	2017 年 前期	小樽と商大生をつなぐ情報発信	(株)オー・プラン	小樽市内各飲食店他	新入生向け「たるぼーと」の作成と、SNS を使っての情報発信。本学学校祭での紹介店商品の仕入販売などを行った。	大学生が紹介店へ何度も訪れるきっかけとなった。
13	2017 年 前期	小樽 1000 人アンケート	(一社)小樽観光協会	小樽堺町通り商店街他	約3ヶ月間、小樽市内で夜の小樽の魅力について探る1000人アンケートを行った。	アンケートの結果とその後の分析をまとめ観光協会へ提出した。
14	2017 年 後期	銭函の活性化	(株)K2	小樽市立銭函小学校他	銭函に住む小学生と、街の未来について考える勉強会「ぜにば小屋」を数回実施した。	子供たちがエリアの魅力について考えるきっかけとなった。
15	2017 年 後期	夜の小樽の魅力度向上	(株)オー・プラン	小樽堺町通り商店街他	秋に旧手宮線にて「小樽ガラスキャンドルの灯り」を実施。また冬には運河プラザ、レンガ横丁、ろまん横丁でキャンドルイベントを行った。	インスタ等でも拡散され、夜の魅力を増やすきっかけとなった。
16	2017 年 後期	スポーツを通じた子供の体力向上	小樽キッズサッカークラブ	おたる自然の村他	子供たちの体力向上のための調査(小樽キッズサッカークラブで約3ヶ月間の手伝い)後に、独自の企画イベントを実施した。	スポーツは競うものではなく楽しんで行うことが体力向上のきっかけになることを提案した。
17	2017 年 後期	市立小樽図書館と連携したコンテンツツーリズム	市立小樽図書館	(株)スクウェア・エニックス他	小樽を舞台にしたアニメ「聖樹のパン」に着目し、市民に知ってもらうためのフリー冊子を作成、配付は市立小樽図書館に限定して行った。	市民へのアニメの認知度向上と若者が図書館へ足を運ぶきっかけとなった。
18	2017 年 後期	ソーシャルメディアを活用した地域の情報発信	(株)デイリー・インフォメーション	小樽市内各飲食店他	広告代理店と連携し、銭函エリアで「LINE@」の営業を行う。契約店の情報を分析し、店と店を繋げるための企画イベントを実施した。	各飲食店が、マスマーケティングを考えるきっかけとなった。

19	2017年 後期	後志の誘客促進	後志観光連盟	神恵内村、(株)K2他	神恵内村の誘客促進のため、村民運動会の手伝い。SNSでの情報発信、YouTubeでの動画配信(村民が多数参加)を行った。	神恵内村の魅力を、様々なアプローチ法で伝えるきっかけとなった。
20	2018年 前期	たるぼーとの作成	(株)オー・プラン	小樽市内各飲食店他	新入生へ配布する「たるぼーと」の製作。二人以上で来店した場合に使えるクーポン券(たるこみ)を掲載した。	掲載店への利用者数が増加した。
21	2018年 前期	市場の交流拠点化	小樽中央市場協同組合	(株)K2他	親子連れをターゲットにした工作体験会や、市場の好きなおかずを買って自由に弁当をつくることのできる「市場きゅう食」などを行った。	中央市場を拠点に、複数のプロジェクトが活動を行うきっかけとなった。
22	2018年 後期	スウェーデンと小樽の架け橋作り	小樽商科大学ビジネススクール	市立小樽美術館他	スウェーデン芸術祭での来場者アンケート調査、スウェーデンの絵本読み聞かせイベント、小樽市内の企業ヘフィーカの提案を行った。	スウェーデンの教育や働き方について、たくさんの方へ伝えることができた。
23	2018年 後期	日本遺産による小樽の活性化	小樽市産業港湾部	小樽都通り商店街振興組合他	北前カフェ(都通り旧石川屋)、レールカーニバルでの炭鉄港パネル展等、堺町通りで北前船ストリートスタンプラリーなどを行った。	小樽市が日本遺産に認定された「北前船」「炭鉄港」についてたくさんの方へ知ってもらうきっかけとなった。
24	2018年 後期	ユニバーサルデザインのススメ	(一社)小樽観光協会	(株)K2、小樽市福祉部障害福祉課他	車椅子利用者や福祉従事者の方に協力をいただき、観光バリアフリーガイドマップ「ふらっとおたる」製作し約50箇所配布した。	障がいの有無や年齢、性別、国籍に関わらず誰にでもやさしい街であることを知ってもらうきっかけとなった。
25	2018年 後期	木育から考える新たな後志の魅力創出	北海道水産林務部	(株)オー・プラン、和信化学工業(株)他	子供食堂での木育活動や、市内の木材会社から端材をいただきベンチ・テーブルを製作した。また、これをウイングベイ小樽の店舗へ寄贈した。	農業や漁業だけではなく、木育の活動を通じ林業についても考えてもらうきっかけとなった。
26	2018年 後期	小樽との新しい関わり方	(株)K2	アクセサリーショップ&SHIMA・SHIMA他	関係人口を「その地域にルーツがある者」と再定義し、それを表すピンバッジ(小樽のガラスを使った北前船の帆の形)を製作した。	アイデンティティーが詰まった「バッジ」を通し、小樽の関わり方は十人十色であることを伝えた。
27	2018年 後期	商大生レンタル	小樽中央市場協同組合	(株)K2他	商大生と市民を繋げるため、中央市場にブースを設置し、ベットの組み立て、自宅掃除など多数の依頼を受け作業を行った。	小樽市内の企業や団体に協力いただきながら、新たな仲間を増やして現在でも活動を行っている。
28	2018年 後期	一周まわって祝津	(株)オー・プラン	小樽レンタル自転車きたりん他	サイクリングルートのGPS調査や、観光船「あおぼと」へ自転車の乗車許可を取り付け、祝津サイクリングマップの製作を行った。	祝津エリアの魅力発信や、坂の多い小樽でもサイクリングが楽しめることを伝えるきっかけとなった。
29	2019年 前期	ロシアとの交流拠点による小樽の活性化	T. T. T. ABROAD ACADEMY	小樽市総務部(国際交流担当)他	ロシア人観光向けフレーズ集の作成、龍宮祭でのロシアンクレープ(ブリヌイ)の販売、ナホトカバスケットボール少年団の歓迎などを行った。	市民へのロシアの魅力発信と、視察団への小樽の魅力発信の双方を行うことが出来た。
30	2019年 前期	自然景観を活用した小樽の魅力創出	NPO法人自然教育促進会	小樽市総合博物館他	オタモイ、祝津、忍路、蘭島、赤岩山のフットパスガイド、全道フットパス大会の企画と実施を行った。	フットパスを通じ、小樽の自然景観の魅力を多くの方へ伝えた。
31	2019年 後期	SDGsを活用した地域創造	(一社)小樽青年会議所	北海道エコビレッジ推進プロジェクト他	おたる運河まつりでのSDGs周知ブースの設置、余市エコビレッジの生活体験、SDGsの達成に繋げるためのアクションブックの製作を行った。	小樽の方へ、SDGsについて知ってもらうきっかけとなった。
32	2019年 後期	町会との連携による地域コミュニティの活性化	花園東三丁目会	旧高橋量店他	町会に住む職人の方を知ってもらう体験会技(畳素材を使ったコースターなど)や工作会(紋の扇子づくりなど)を行った。	人の繋がりが深い「町会」が、地域のコミュニティを活性化に繋げるきっかけとなるとを証明した。
33	2019年 後期	小樽っ子の学習意欲の向上	(株)K2	小樽市教育委員会他	子供たちの学習意欲の向上のため、小中学生の放課後学習ボランティアで大学での学びを伝えたり、自らが主催したイベントなどを行った。	現在活動中。
34	2019年 後期	ゴム博物館から伝える小樽の新たな魅力発信	第一ゴム(株)	(株)ミツウマ他	小樽の歴史とともに歩んだゴム産業の歴史や今についてを紹介する「オタルゴムミュージアム」を行った。	テレビなどでも取り上げていただき、小樽のゴムの歴史や今を多くの方へ伝えることができた。
35	2019年 後期	地域と人を繋げる新たな社会貢献	旭川サンタラン実行委員会	北海道グレートサンタラン実行委員会他	病氣と闘う子供たちにクリスマスプレゼントを届けるためのチャリティイベント「サンタラン」を小樽で初めて実施した。	全道から沢山の方に参加いただいた。また、市内の企業からも多数の協賛金をいただいた。